

大学入学者選抜における多様な評価方法の実態把握・分析に関する調査研究

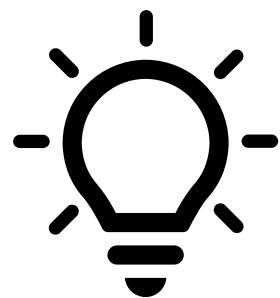
(文部科学省 令和7年度先導的大学改革推進委託事業)

▶ https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/mext_03504.html

総合型選抜や学校推薦型選抜は、出願書類に加え、各大学が実施する評価方法等や大学入学共通テストを活用して多面的・総合的な評価を行うが、そこで行われる①小論文・レポート・エッセイ、②面接・口頭試問・プレゼンテーション・集団討論、③総合問題については、大学ごとに実施方法や定義が異なっている。

本調査では、学力の三要素を多面的・総合的に評価する工夫が認められる全国の国公私立24大学にアンケート調査を実施して評価方法の具体的事例を収集し、取組における効果的な実施のポイントを整理し、実施に当たり留意すべき事項をチェックリストにして提供。

実施上のポイント



①小論文・レポート・エッセイ

②面接・口頭試問・プレゼンテーション・集団討論

③総合問題

について、組織・体制整備／進行管理とチェック体制／テーマ・問題・質問方針の設計／評価基準の策定／評価基準の共有と評価の一貫性・整合性の確保／振り返りと改善／当日の実施・運営上の留意点 を整理

実施に当たり留意すべき事項に係るチェックリスト



①「小論文・レポート・エッセイ」実施におけるチェックリスト

※本チェックリストは、各大学における評価方法の立案・実施に資する参考資料として位置づけるものであり、記載事項に則していないことをもって不適切な選抜と判断するものではない。

※ *の付された項目は、明確な正答を前提としない非定型的記述形式を扱う小論文・レポート・エッセイの特性を踏まえ、求める人材像との整合性を踏まえた出題の妥当性の確保、評価基準の明確化と共有、評価者間の一貫性の確保、複数教員による作問・評価の体制の整備など、運用上の配慮が特に求められる観点である。

【0】導入目的の確認

- ☐ アドミッション・ポリシーとの整合性を確認し、学部・学科の教育理念に沿って導入されているか
- ☐ 志願者像（求める資質・能力）が明確になっているか
- ☐ 学力の三要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」）のうち、評価の重点と理由、

【2】進行管理とチェック体制

- ☐ 設計・実施・評価・判定までの工程が統括部署で一元管理され、進行状況を記録・確認できる仕組みがあるか
（工程例：素材選定、作問案作成、点検・校正、評価観点・基準作成、印刷、実施、採点・評価、判定）
- ☐ 責任者が進行状況を定期的に確認しているか